

トピックス **ぶらす**

1/27

地元の風景の素晴らしさを見直して

「観光振興などに役立ててほしい」と1月27日、昨年11月に行われた「アートフェスティバル登米」の実行委員や作品出展者が市役所迫庁舎を訪れ、市内名所のパノラマ写真が寄贈されました。寄贈されたのはフェスティバルにも出展された2作品で、市では平筒沼の写真を南方庁舎に、教育資料館の写真を中田庁舎にそれぞれ飾る予定としています。



▲市内観光名所のパノラマ写真2点が贈られました

2/3

農産物の生産から食品の生産へ

農産物生産振興研修会が2月3日、ホテルニューグランヴィアで開催され、市内の園芸農家や県、市、JAの関係者ら約130人が参加しました。研修会では、農薬の適正な使用方法や、千葉県多古町旬の味産直センターの鎌形芳文よしふみ課長を講師に招いての講演が行われ、商品販売戦略や農業生産工程の管理方法など、先進事例について学びました。



▲センターの販売システムについて説明する鎌形課長

2/6

各体育協会が交互に情報交換

市内の体育協会間で情報交換などを行う「体育協会登米市ブロック研修会」が2月6日、豊里多目的研修センターで行われました。研修会では、フェンシング日本代表選手の菅原智恵子ちえこさんによる「オリンピックを通じて学んだこと」と題した講演のほか、南方と登米両地区の協会代表者から事例発表が行われ、参加者は熱心に受講していました。



▲運動することの大切さや、難しさを話す菅原選手

2/8

青年たちが文化活動を発表

市内の青年が一堂に集い、日ごろの文化活動の発表を通して青年会活動を活性化することを目的とした「第4回登米市青年文化祭」が2月8日、東和勤労青少年ホームで開催されました。この文化祭は登米郡時代から通算で53回目の開催となり、会場では各町域の青年会による伝統芸能や人形劇などの披露、写真展示などが行われました。



▲石越青年サークルによる「宮鎮め舞」の披露

スキーを通して団員が交流

豊里でスポーツ少年団スキー教室

日ごろ活動している各種スポーツ少年団員の交流を深めることを目的としたスキー・スノーボード教室（市スポーツ少年団豊里支部・豊里公民館主催）が2月11日、大崎市のオニコウベスキー場で開催され、豊里支部の小学生団員とその保護者14人が参加しました。参加者はスキーとスノーボードに班編成をした後、指導員から一人一人丁寧に指導を受けていました。教室の後半には、高い所から滑ったり友だちと競ったりする姿が見られ、参加者は歓声を上げながらスキーやスノーボードを楽しんでいました。



▲指導員から一人一人丁寧に指導を受けました



▲慣れない手つきながらも「はっと摘み」に挑戦しました

ママの「はっと」おいしいね

南方でぼっぼクラブ「登米料理教室」

市の食材を使った料理教室が1月30日、南方子育てサポートセンターで開催されました。教室では、食生活推進員協議会の皆さんから調理指導を受けて調理実習を行いました。また、教室では子育てボランティア「あそぼ」に協力もらっての託児サービスが行われ、参加者は集中して料理に取り組んでいました。参加者の中には県外の出身で「はっと摘み」は初めてという人もいましたが、手際よく調理していき、愛情いっぱいの「はっと」と「米粉パンケーキ」が完成。会場は親子の笑顔であふれていました。

ふるさとの友と語り合う

東京米山会総会・懇親パーティー

第26回東京米山会総会・懇親パーティーが2月15日、アンフェリシオン（東京都江東区亀戸）で開催されました。米山出身の会員約120人が参加した総会では、佐藤順二じゅんじ会長が「今後もふるさと米山を思い、自分たちの手で親睦を深める会にしましょう」とあいさつ。総会終了後の懇親会では、懐かしいふるさとの思い出話に花を咲かせたり、お互いの近況などを語り合う姿が会場のあちこちで見られたほか、地元物産品の販売では多くの皆さんが、ふるさとのお土産を買い求めていました。



▲懐かしむかのように米山産の農産物や加工品を買い求める在居者